

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.39, No.2



坤輿万国全図 (W3.8m×H1.7m)

『坤輿万国全図』は、イタリア人のイエズス会宣教師マテオ・リッチ(1552-1610)が、1602年に出版した世界図です。東洋を中心とした世界図としては、現存するもので最古のものであります。中央部には世界図が描かれており、周辺には天文学・地理学などの当時の最新の科学的知識が記録されています。日本には、江戸時代初期に伝来し、江戸時代中期以降の日本人の世界認識に大きな影響を与えました。

東北大学で所蔵する本図は、日本に伝来した原本から作られた写本です。原本は、世界に3点だけ現存します。原本の中国語地名に加えて、日本語読み(かな)が付加され、彩色されているのが写本の特徴です。

同様の写本は日本全国に約30点現存しますが、本図は其中でも最も美しい彩色図として知られており、1992年のセビリア万博の日本館に展示されました。



Contents

表紙

「坤輿万国全図」(こんよばんこくぜんず)

TOPICS

- 留学生コンシェルジュによるFacebook開始! 2
- 情報探索の教材を公開 3
よりよいレポートを書きたいみなさんへ
- 学生選書企画「Student Book Harvest 2014」予告 4
・昨年度の「Student Book Harvest」から

LEARNING

- 電子ブックのススメ (3) 5
電子ブックで多読 ~ Macmillan Readers ~

EVENT

- 新入生オリエンテーション／各種講習会 6
本館・金属材料研究所
- 萩友会プレミアム会員の館内見学

SERIES

- 「ゆかりの人々」 7
加齢医学研究所 川島隆太 教授
- <つながり>の一冊 7
「アインシュタインの望遠鏡」

Information

- オープンキャンパスのお知らせ 8
医学分館・北青葉山分館・工学分館・農学分館
- 国宝「類聚国史」を「日本国宝展」へ出展 8



Facebook page of Library Concierge Service for International Student (trial) is now opened

留学生コンシェルジュによるFacebook開始！

We are pleased to inform you that the official Facebook page of Library Concierge Service for International Student (trial) is open from April.

Library's announcements and other information of various events, necessary for foreign students and those who desire to study abroad, are posted on this page in several languages.

Please click "Like!" so that you can receive updates from us on Facebook.

4月より、留学生コンシェルジュによる公式Facebookを試行的に始めました。

留学生コンシェルジュからみた図書館の様子、各種イベントのお知らせ、留学生や海外へ留学したい学生の皆さんにも見てもらいたい情報など、様々な内容を多言語で発信していきます。

たくさんの「いいね！」をお待ちしています！

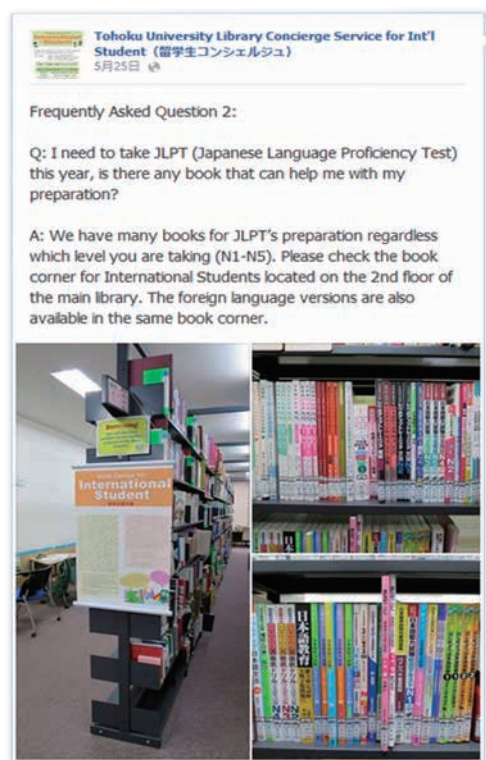
Tohoku University Library Concierge Service for Int'l Student (留学生コンシェルジュ)

<https://www.facebook.com/tohokuunivlib>



The following are the examples of our page posts.

このような記事を載せています。



情報探索の教材を公開 よりよいレポートを書きたいみなさんへ

レポートを作成するときに必要な情報の集め方やレポートの書き方などについてまとめた教材が、図書館のサイトからダウンロードできます。

必要な部分を利用する、全体を読み込んで理解を深めるなど、自分に合った方法で活用してください。

目次

- 第1章 レポート作成その前に
ーテーマに関する基礎知識を手に入れようー
- 第2章 テーマを具体化しよう
- 第3章 もっと素材を集めよう (1) 雑誌論文
- 第4章 もっと素材を集めよう (2) 新聞・統計資料
- 第5章 自分なりの着眼点をみつけよう
ーレポートの土台作りー

- 第6章 論理的なレポートを書くために
- 第7章 集めた素材を活用しよう
ー事実や意見に対する自分の意見をまとめー
- 第8章 よりよいレポートを目指して
ー客観的に見直そうー

付 録

- 1. 実習問題 解答 2. レポート作成例

掲載例

3.4 ツールで探す：図書・雑誌をOPACで探す

東北大学附属図書館 OPAC (URL: <http://www.library.tohoku.ac.jp/opac/>)

OPACとは、Online Public Access Catalogの略で、東北大学が所蔵する資料のうち、図書約250万冊・雑誌約6万5千種が検索できます。加えて、全国の大学図書館の所蔵状況も調べることができます。My Libraryと併せて使うことで、より便利になります。

1.2 素材活用のために「引用」というテクニックを覚えよう

これまで、レポートの作成方法と様々な資料の探索方法を学んできました。探した図書や雑誌論文、新聞記事、統計資料を読むことで得られた「事実やデータ」は、様々な文献から得られたいわばレポートの素材・材料です。この集めた素材を実際のレポートに記述していく際に必要になるのが、「引用」というテクニックです。自分が努力して集めた情報をきちんと読み手に評価してもらうため、正しい引用方法を身につけましょう。

2. 引用とは～信頼性と説得力を高めるために～

2.1 引用の目的と効果

「引用」とは、様々な文献から得た事実やデータ、意見などを自分の文章の中で紹介することを指します。引用は、ただやみくもに行うのではなく、自分の主張のオリジナリティをアピールする、自分の主張の根拠とする、自分の主張を補強するために行います。信頼性の高い情報を効果的に引用すれば、レポートの説得力を高める効果があるのです。

引用の目的

- ① オリジナリティを高める
- ② 自説の根拠にする
- ③ 自説の応援団にする
- ④ 自説の仮説敵にする

正しく引用することの効果

信頼性、説得力の向上

レポート作成 チェックリスト

提出前にチェックしましょう！

- ☐ 指示されたレポートの形式を満たしていますか？
- ☐ 指示された字数制限を守っていますか？
- ☐ 誤字脱字はありませんか？
- ☐ 引用文献・参考文献は正確に記載されていますか？

レポートとは～

■ レポートの要件

- ☐ 何らかの、学術的・社会的問題を扱い、それに対する「問い」を示していること
- 「問い」に対する「自分の答え」と「主張に至る論証」
- × 自分の思いや考えをただ綴るものではない (ex 感想文、作文、随筆)
- × 自分が満足するためのものではない (⇒ 読み手へ満足させるためのもの)
- × 自説立情報ではない (ex 調べたことを書くだけ)

■ 学術的・社会的問題とは

- ☐ その解決に、学術的・社会的な意義がある
- ☐ 多くの読者が興味・関心を持って読めること

■ レポートの構成と書くべき事

- タイトル：□ 扱う問題
- 着眼点
- 序論：□ 何を前にして (前理となる事実・先行研究の紹介、執筆動機)
- 扱う問題 (どういった問題に取り組むのか)
- 問題意識 (どうして取り組むのか、その問題を解決するとどうなるのか)

提出前の最終チェック！「レポート作成チェックリスト」

アクセス方法

図書館ホームページ

画面左メニューの「情報探索の基礎知識」

「レポート力」アップのための情報探索入門 2014

もっと詳しく知りたい場合は、全学教育科目の授業「『レポート力』アップのための情報探索入門」(2セメ・木曜日・5時限目)も受講しましょう！

学生選書企画「Student Book Harvest 2014」予告

附属図書館本館では、毎年、学生選書企画「Student Book Harvest」を開催しています。「Student Book Harvest」とは、図書館に置いて欲しい学習用の図書を学生が直接選ぶという企画です。開催時期は今年の秋頃を予定しておりますが、参加方法など詳細が決まり次第館内に掲示しますので、そちらをご覧ください。

昨年度は、書店の本棚から直接本を選ぶ「本屋へGo! ひとりでじっくり♪」に18名が参加し、サークルや研究室の仲間と一緒に一つのテーマに関連した本を選ぶ「テーマでGo! 仲間と一緒に♪」には、7団体の参加がありました。

この企画で学生の皆さんが選び図書館で購入した本は、附属図書館内に展示されています。貸出もできますので、是非ご利用下さい。



昨年度の「Student Book Harvest」から

■ 学生の皆さんの参加コメント

【本屋へGo! ひとりでじっくり♪】

- 自分でほしい本を図書館で並べられるのが斬新な体験で、非常にうれしかったです。もしチャンスがありましたらまた参加したいです。
- 専門外の人が興味を持つきっかけとなったらいいなという観点で選びました。
- 自分の好きな分野の本が図書館の蔵書になるのが嬉しい限りです！
- 法学系の新刊を選びました。授業の参考に活用してみてください。今度は皆さんも企画に参加することを勧めます。
- 図書館の宗教学に関する本はやや少ないと思ひまして、参加する自分の需要に応じて、本を選ぶことができてよかったと思います。
- 戦時中に使用されていた道徳の教科書である修身を現代人にもわかり易く解説している。昔の日本人の価値観なり思想に少しでもふれてもらえればと思う。
- 本屋で本を選ぶ時間をもう少しゆとりのあるものにして欲しい。1時間半程度は欲しかった。
- 参加者の好きな時間に行けるとよいと思いました。
- 以前から読んでみたいと思っていたけど、高額で個人では購入できなかった本を選びました。よい企画だと思ひます。

【テーマでGo! 仲間と一緒に♪】

- 前期にも機会があるといいと思います。
- 本を選ぶのに時間がかかるので告知はなるべく早めがいい。
- 読みたいと思っていた本を買っていただき、ありがとうございます。
- 企画での購入は早く購入していただけるので、ありがたいです。
- 時期は6月頃がよい。

■ 「テーマでGo! 仲間と一緒に♪」

前号に引き続き、「テーマでGo! 仲間と一緒に」で選定された図書の一部をご紹介します。

■ 東北大学鉄道研究会

テ — マ 鉄道に知る我が郷土
コンセプト 鉄道を通して、地元の地理・産業そして人や文化について考えをめぐらす。

● 総天然色のタイムマシン

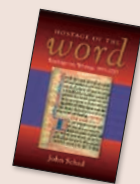
- 森製作所の機関車たち
- 国鉄鋼製客車. 1, 2巻
- 旧型国電50年. 1, 2巻
- 列車名変遷大事典
- 日本の装甲列車
- 軽便追想
- 鉄道車両技術入門
- 「稀」車両
- 迷い迷って渋谷駅
- 新消えた轍. 1-10巻



■ マテリアル・カルチャー研究会

テ — マ 西洋近代とマテリアリティ
コンセプト 近年、material culture や thing theory と言う研究分野が注目を浴びています。西洋近代における materiality について考えようとする際に役立つと思われる本を選びました。

- ベンヤミンのアレゴリー的思考
- カオスとシミュレーション
- 人間とは何か
- ベンヤミンの現在. 新版
- The reading lesson
- Hostage of the word
- Queer fish





電子ブックのススメ(3)

電子ブックで多読！～ Macmillan Readers ～(学内限定)

英語の本をたくさん読んで自然と英語力を身につける「多読法」。本学の授業でも利用されている多読用のテキスト「Macmillan Readers」の一部が、電子ブックでも利用できます。

紙の資料はもちろん、パソコンやタブレット、スマートフォンなどの身近な機器も利用して、たくさんの英語をインプットしましょう。

例

閲覧をクリックすると本文が読めます。

Macmillan Readersのレベル分け
レベル1: ● レベル3-4: ●
レベル2: ● レベル5-6: ●

ワードカウント

総語数: 28500語 甘くて切ない恋愛小説。若く美しいアンナは、裕福だが年老いた実業家レーニンの妻として不幸な人生を送っていた。だが、魅力的なワロンスキー伯爵と会ったとたん、彼女の人生は一変する。二人はすぐに激しい恋に落ち、アンナは夫に離婚を申し出る。アンナとワロンスキー伯爵は幸せを見つけることができるのか。それとも、すべては悲劇に帰してしまうのか。

● アクセス方法 (①②どちらかの方法でアクセスできます)

① 図書館のReadersのサイトから、多読用の電子ブックを見る

図書館ホームページ → → をクリックすると、電子ブックへのリンクが載っています。

② 蔵書検索で探す

「macmillan readers」と入力

「電子ブック」にチェック

検索し、読みたいものを見つけたら、詳細情報を開く。

ここをクリックすると、電子ブックのサイトへ遷移します。

URL	配架場所	巻次
	電子ブック(左をクリック)	

■ 電子ブックが利用できるのは、多読の本だけではありません。日本語や英語の約2,500タイトルの様々な分野の電子ブックがありますので、ぜひ利用してください。

<電子ブックの一例> ● Infobase eBook Collection ←英語学習に! ● シェークスピア全集 ● 東洋文庫 ● 国史大系

その他、留学や語学関係や辞書・事典・ハンドブック、大学生向けのテキスト・教養書などもあります。

電子ブックの探し方

- ① 蔵書検索で探す(上記アクセス方法②を参照)
- ② 図書館ホームページ → 左メニュー「電子ブック」から選択

EVENTS

新入生オリエンテーション/各種講習会

本館

4月4日(金)から24日(休)にかけて、図書館オリエンテーションとレポート作成に必要な情報探索法の講習会を開催し、臨時体制の開館にも関わらず、延べ900名以上の参加者がありました。また、オリエンテーション開催時には特別に4階で狩野文庫と漱石文庫の展示も行い、多くの見学者が訪れました。

10月には1号館がリニューアルオープンし、新たに図書館オリエンテーション等も予定していますので、そちらもぜひご参加ください。



▶ 図書館オリエンテーションの様子



▶ 狩野文庫と漱石文庫の展示を見学

金属材料研究所図書室

金属材料研究所では例年、図書室と教員との共催により図書室オリエンテーションを実施しています。今年は5月15日(休)に開催し、新院生を中心に34名の参加者がありました。

図書室職員から図書室の利用案内を行ったほか、教員から「ICDD Cards」「Alloy Phase Diagrams」「International Tables Crystallography」「Web of Science」「Scopus」「CiNii」など、材料科学分野の研究で必須のデータベースについて解説いただきました。

参加者からは、各種データベースを今後の研究に活用したい、などの意見がありました。



EVENTS

萩友会プレミアム会員の館内見学

6月7日(土)に、萩友会プレミアム会員懇談会(萩ホールで13:30から開催)の参加者を対象に、図書館(2号館)の見学会を行いました。

見学会では、1グループ10名程度で、約30分の見学ツアーを行いました。

見学会には、本学学生の保護者の皆さまを中心に190名が参加し、「狩野文庫」や「漱石文庫」の展示の他、ラーニング・コモンズ、英語多読コーナーなど、当館が提供する様々なサービスについてご覧いただきました。

参加者からは、「貴重な資料を観られて良かった」などの声が多数寄せられました。



SERIES

「ゆかりの人々」～ 加齢医学研究所 川島隆太 教授

シリーズ「ゆかりの人々」は、「東北大ゆかりコレクション」にちなみ、本学の卒業生、教職員など、東北大学にゆかりのある方々の著書について、ご本人に様々なエピソードを含めて、ご紹介いただくコーナーです。シリーズ9回目は、本学加齢医学研究所の川島隆太教授です。



私は乱読派、出張の時は必ず数冊文庫本を持って新幹線に乗ります。小説など、自分の専門とは全く関係ない本を読み、その本が描く精神世界で遊ぶ中で、研究のヒントがでてくるともしばしばです。学術書でなくて恐縮ですが、変わり種の著書を3冊紹介します。人生のどこかで何かのヒントになれば幸いです。



『年を重ねるのが楽しくなる「スマート・エイジング」という生き方』 扶桑社 2012年

スマート・エイジングという言葉を知っていますか？ 超高齢社会に面している我が国の現状を切り開くために、本学が考えた概念です。加齢医学研究所では、スマート・エイジングの実現を理念のひとつにあげています。これからの社会を背負って立たなくてはならない本学の学生さん達に、是非とも読んでいただきたい一冊です。

(本館学閲 SC194/0150 医分1F 文庫版 US1/18)



『さらば脳ブーム』 新潮新書 2010年

産学連携によって生まれた「脳トレ」が、世界的なブームになったが故に、巻き起こった悲喜こもごもの騒動を書きつづりました。産学連携の難しさや、出る釘を打とうとする勢力が仕掛けてくる「戦い」に否応なしに巻き込まれるなど、程度の違いはあっても大学人であれば皆さん経験することかもしれません。

(本館学閲新書新潮新書 US1/0233/396 医分1F文庫版 US1/7)



『記憶がなくなるまで飲んでも、なぜ家にたどり着けるのか?』 ダイヤモンド社 2007年

下戸の脳科学者(私)と底なしの脳科学者(東京医科歯科大学泰羅教授)が、飲酒が脳機能にどのような影響を与えるのかについて激論を展開しています。酒を飲んだあとの記憶がないという経験をお持ちの方、逆にそのような酒好きに困り果てている方、皆さん、胸にすくと落ちると思います。

(本館(予定))

SERIES

〈つながり〉の一冊 『アインシュタインの望遠鏡』

宇宙ってどんなところ？ 何からできているの？ 星はなぜ輝くの？

工学部機械知能・航空工学科4年 矢島沙帆

シリーズ〈つながり〉の一冊は、学生の皆さんに、感銘を受けた本や、他の学生さんにお薦めしたい本、ご自身の研究上影響を受けた本などを紹介しながら、つながっていく<リレーエッセイ>です。



『アインシュタインの望遠鏡：最新天文学で見る「見えない宇宙」』
エヴァリン・ゲイツ著；野中香子訳
早川書店 2009年刊

——子供の頃、きっと誰しも一度は不思議に思ったことがあるのではないのでしょうか。

でも、いつしか曖昧なまま、どこかに忘れてきてはいないのでしょうか？ 今一度好奇心を呼び覚まし、その答えを探しに行きませんか？

今回紹介するのは見えない宇宙を「見る」ためには…？というお話です。宇宙や科学はともすれば専門的で難しいからと敬遠されてしまいがちですが、この本は決して専門書ではありません。宇宙に少しでも興味を持つ一般の読者に、最先端の知見に触れてもらうことを目的に書かれています。専門知識などは必要ありません。数式なども使わず、例を多用してわかりやすく解説してくれます。

宇宙の構成要素の中で把握できている物質はほんとにわずかです。宇宙の7割はダークエネルギーという未知のエネルギー、2割程がダークマターという未知の物質で、私たちが知っている物質はわずか4%です。宇宙は未だに謎だらけの世界なのです。しかも、これらは「見えない」のです。けれども、その「見えない」ものを「見」ないことには科学は先に進めません。そのために使われる望遠鏡、これは普通にイメージするものとはちょっと違うかもしれません。それによってどんな宇宙が見えるのかはぜひ、本書を読んで確かめてみてください。

また、宇宙には見えないものだけでなく、見えるのに実際にはないものもあります。光が重力によって曲げられて、本当は1つであるはずの星が2つ、3つ、4つと実際よりも多くあるかのように見える現象があります。重力レンズ効果といい、増えるだけでなく大きくなったように歪んだりもします。不思議に感じませんか？ カラー写真もついているのでぜひ一度見てみることをおすすめします。

科学や宇宙は専門家だけのものではありません。ちょっと関心を持って足を踏み出せば世界はぐっと広がります。自分の専門外のことにも少しでも興味を持つきっかけになれば幸いです。(本館学閲 MB21/0210 北青葉山分館1階図書 MB31/141)

Information

オープンキャンパスのお知らせ 7月30日(水)～31(木)

■ 医学分館

『解体新書』と医学生のノート・教科書の展示

日本史の教科書でお馴染みの『解体新書』を展示します。

また、明治時代の医学生の受講ノートと、現在の医学生のノート・教科書を展示します。

今回展示する明治時代の受講ノートは、中国の思想家・文人である魯迅が東北大学(当時は仙台医学専門学校)に、在籍していた頃の学生のもので、魯迅も受けたであろう講義内容の様子や、手書きとは思えないほどの緻密な人体図を、ぜひご覧ください。

あわせて、現在の東北大学医学生のノートと教科書も展示します。

興味のある方はぜひお立ち寄りください。



■ 北青葉山分館

「結晶の世界ミニ展示」

世界結晶年にちなみ、身近な結晶の世界を紹介し、関連資料をご案内します。

1階のエントランスホールを開放していますので、お休みがてらご覧ください。

館内案内も随時行いますので、お気軽に職員にお声がけください。



■ 工学分館

「東北大学工学系の歴史」ほか

工学研究科などの学内工学系研究組織の歴史や、工学研究科等にゆかりのある著名人を紹介するパネル展示などを行います。

■ 農学分館

「雨宮キャンパス 今・昔・そして未来」

農学分館所蔵資料から、農学部キャンパスに関連した写真等を展示します。

国宝「類聚国史」を「日本国宝展」へ出展

平成26年10月15日(水)から12月7日(日)、東京国立博物館において開催される「日本国宝展」に、当館が所蔵する国宝「類聚国史 巻第二十五」が展示されます。

「類聚国史」は、平安時代後期のもので、政府が編纂した「日本書紀」「続日本紀」などの「六国史」の記事を内容別に分類して再編集した歴史書です。菅原道真が編纂に当たり892年に完成しました。本来本史200巻、目録2巻、帝王系図3巻がありましたが、現在62巻を伝えるだけとなっています。

本学の「類聚国史 巻第二十五」は帝王部第五に当たり、平安後期に書写されたもので、写本の中でも最古の一つとなっています。国宝指定は、昭和16(1941)年7月でした。

同館での国宝展開催は、14年ぶり3回目。今回は「祈り」をテーマとした展覧会となります。展覧会は5部構成となっており、「類聚国史」は第3部で展示される予定となっております。



はぎのすけのつばやき

「東北大学附属図書館イメージキャラクターのはぎのすけです。皆さんの快適な学習環境をおたすけいたします。どうぞよろしくおねがいいたします。」



Tohoku Univ. Library
@hagi_no_suke

東北大学附属図書館のツイッター公式アカウントです。東北大学生の学習と生活のためにつばやきます。
http://twilog.org/hagi_no_suke
Sendai, Miyagi, JAPAN